SAMSUNG

2026年9月9日

※サムスン電子(韓国本社)配信のコンテンツを翻訳した内容です。
※使用できる機能は国・地域・OS バージョン、デバイスのモデルなどによって異なります。

＜報道関係者各位＞

2026 年に過去最大の株主還元を実施へ 総額約 90 兆～110 兆ウォン規模を見込む

サムスン電子株式会社(韓国本社、以下 Samsung)は、2026 年 8 月 21 日(金)に開催された取締役会において、総額約 90 兆～110 兆ウォン規模となる 2026 年の株主還元計画を承認しました。これは、2020 年に記録した従来の最高額である 20.3 兆ウォンの約 5 倍に相当し、韓国企業として過去最大の株主還元となる見込みです。

今回の株主還元は、当社の成長を株主にとって目に見える利益へと結びつけ、企業の成長と株主価値の創出が相乗効果を生む好循環を構築することを目的としています。

また、Samsung は、フリーキャッシュフロー(FCF)の 50%を株主還元に充てる 3 カ年の株主還元方針(2024 年～2026 年)を、これまで着実に実行しています。2024 年から 2025 年にかけて、年間 9.8 兆ウォン、合計 19.6 兆ウォンの通常配当を実施しました。これに加え、2025 年には 1.3 兆ウォンの特別配当と、8.4 兆ウォン相当の自社株買い・消却を実施しました。

2026 年の株主還元を含めると、3 カ年(2024 年～2026 年)における株主還元総額は、120 兆～140 兆ウォンに達する見通しです。2026 年第 3 四半期には、定期配当を含む約 30 兆ウォンの現金配当を実施する予定であり、詳細は 10 月の取締役会で最終決定します。

残りの株主還元については、2026 年通期の業績確定後、2027 年 1 月の取締役会で決定します。当該計画には、現金配当および自社株買い・消却が含まれる見込みです。併せて取締役会では、従業員向け報酬を目的とする約 15 兆ウォン規模の自社株買いも承認しました。

このような従業員向け報酬を目的とする自社株買いは、株主価値の向上にも寄与するものと見込まれます。Samsung は今後も、株主還元方針を着実に履行するとともに、株主および市場に積極的に発信していきます。

●「Samsung Galaxy」は Samsung Electronics Co., Ltd.の商標または登録商標です。
●その他、記載されている会社名、商品名、サービス名称等は、各社の商標または登録商標です。